

検査説明書：MRI 検査を受けられる患者さんへ

1. MRI検査とは

強力な磁石と電波を使って体内の画像を得る検査です。放射線による被ばくがなく、検査の目的に応じてコントラストのよい画像が得られることが特長です。しかし、強い磁石を使うため、MRI ならではの制限や注意事項がありますので、以下の説明をよくお読みください。

2. 検査を受ける前に

◆ 以下に該当する方は検査を受けることができません。

- ◎ ペースメーカ・植込み型除細動器・人工内耳・心外膜ペースワイヤ・生命維持装置が体内にある
- ◎ 仕事・事故・戦争等で、体内に金属片が入っている可能性がある

◆ 以下に該当する方は検査を行えない場合があります。

- ◎ 体内に手術などによる人工物がある（依頼科にお問い合わせください）
- ◎ 同じ姿勢を保てない（動きに弱い検査です。検査中は体を動かさないようにしてください）
- ◎ 閉所恐怖症である（直径 50～70 cm くらいのトンネルの中に入って検査します）
- ◎ 妊娠中である（胎児の細胞分裂が盛んな 14 週未満は MRI 検査を極力避けることが望ましいです）

3. 検査時の注意事項

◆ 安全のために、検査着に着替えて、身につけているアクセサリ、金属類、磁石類はすべて外していただきます。盗難防止のため、必要以上の貴重品は持参しないでください。

◆ 金属類や貴重品は検査室内に持ち込めません。以下のものにご注意ください。

時計、携帯電話・スマートフォン等の電子機器、補聴器、ホルター心電図、磁気カード類
マグネット式義歯、バルーンカテーテルのマグネットキャップ、万歩計、インスリンポンプ
持続グルコース測定器、ヘアピン、アクセサリ、はずせる入れ歯、かつら、ベルト、コルセット、
ストーマベルト、金属類のついた衣類・下着、発熱素材の下着、カイロ、湿布、エレキバン、
金属を含む貼り薬（ニトロダーム TTS など）、小銭（入れ）、鍵、安全ピン、ボールペン、クリップ など

- ◆ 検査の所要時間は 30～60 分程度ですが、検査内容や検査部位などにより異なります。
- ◆ 大きな音がします。ヘッドフォンや耳栓を用意していますが、音を完全に消すことはできません。
- ◆ アイシャドウ・マスカラなどは控えてください。また、カラーコンタクトレンズ・瞳を大きく見せるコンタクトレンズには金属を含む製品がありますので、あらかじめ取り外してください。
- ◆ 刺青・アートメイクは火傷を起こしたり、色あせたりする可能性があります。
- ◆ 検査部位によっては、数秒～20 秒ほど息を止めてもらうことがあります。
- ◆ 検査室に入る前に、問診と金属探知機によるチェックを行います。安全のため、ご協力ください。
- ◆ 検査中は通報用のブザーをお渡しします。気分が悪くなったり、異常を感じたりされましたら、ブザーを押してお知らせください。必要時は検査中も担当者とマイクを通して会話ができます。
- ◆ 胆嚢・膵臓の検査（MRCP）を受ける方は、検査前に MRI 用経口消化管造影剤（250ml）を飲んでいただく場合があります。まれに軟便・下痢などの症状が起こることがあります。通常、特に心配ありませんが、腹痛が強い場合は主治医にご相談ください。